



2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月11日

上場会社名 株式会社 エムビーエス
 コード番号 1401 URL <https://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 栗山 征樹
 四半期報告書提出予定日 2019年4月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
 TEL 0836-54-1414

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第3四半期の業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	2,366	18.7	192	3.2	235	7.6	158	9.4
2018年5月期第3四半期	1,994	12.3	198	16.2	254	24.8	175	29.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	21.81	20.65
2018年5月期第3四半期	24.08	23.05

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	2,808	1,999	71.1	274.41
2018年5月期	2,850	1,835	64.3	252.03

(参考)自己資本 2019年5月期第3四半期 1,997百万円 2018年5月期 1,833百万円

(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首より適用しており、2018年5月期については、遡及処理後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		0.00	0.00
2019年5月期		0.00			
2019年5月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	12.7	405	30.1	438	14.0	300	5.2	41.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	7,279,000 株	2018年5月期	7,275,000 株
期末自己株式数	2019年5月期3Q	株	2018年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	7,276,905 株	2018年5月期3Q	7,275,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、地震や台風などの自然災害の影響はあったものの、企業収益や雇用環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、海外の政治情勢の不安定化等により株価や為替等の不安定な動きによる世界経済の不確実性の影響もあり、不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、政府の公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど厳しい状況も続いております。

このような状況の中、当社は、新たに2018年6月に仙台支店(宮城県)を設置するとともに、既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減及び施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

さらに、施工技術においてはコンクリートのコーティング構造及びコンクリート表面のコーティング方法についての研究開発を進め、特許取得への基礎固めを図りました。

これらにより、当第3四半期累計期間における売上高は、パートナーとの関係強化継続における受注拡大を図った結果、各支店での受注額の増加により2,366,998千円(前年同期比18.7%増)、営業利益は、建築分野におけるナショナルチェーンからの受注獲得を戦略的に促進するために生じた売上総利益率の減少及び今後の積極的な支店展開に向けた人材採用投資に伴う人件費の増加等により192,255千円(前年同期比3.2%減)となりました。経常利益は、当社太陽光発電による売電収入29,776千円、受取助成金10,445千円、外国社債に関する有価証券利息9,675千円のほか、減価償却費16,341千円、売電費用1,677千円、支払利息1,503千円の計上等により235,396千円(前年同期比7.6%減)、四半期純利益は、158,696千円(前年同期比9.4%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は2,176,784千円(前年同期比21.1%増)となり、セグメント利益は今後の支店展開に向けた人材採用投資に伴う人件費の増加等により324,327千円(前年同期比5.2%減)となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が減少したため、売上高は188,623千円(前年同期比3.4%減)となり、セグメント利益は19,904千円(前年同期比8.1%減)となりました。

(その他)

FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の減少により、売上高は1,590千円(前年同期比13.6%減)となり、セグメント利益は130千円(前年同期比69.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ41,450千円減少し、2,808,674千円となりました。これは主に、現金及び預金107,349千円の減少、完成工事未収入金105,790千円の減少、未成工事支出金126,818千円の増加、投資有価証券6,081千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ205,337千円減少し、808,884千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金52,100千円の減少、未払法人税等45,492千円の減少、支払手形43,298千円の減少、工事未払金33,235千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ163,887千円増加し、1,999,789千円となりました。これは主に、利益剰余金158,696千円の増加、その他有価証券評価差額金4,226千円の増加等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月9日に発表いたしました2019年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	761,521	654,172
受取手形	204,145	176,109
電子記録債権	581	35,406
完成工事未収入金	420,745	314,954
売掛金	10,492	14,387
未成工事支出金	152,004	278,822
仕掛販売用不動産	6,464	6,464
原材料及び貯蔵品	42,831	30,046
その他	32,449	57,658
貸倒引当金	△6,633	△4,467
流動資産合計	1,624,602	1,563,555
固定資産		
有形固定資産		
土地	359,132	359,132
その他(純額)	260,717	247,787
有形固定資産合計	619,850	606,920
無形固定資産	22,049	26,450
投資その他の資産		
投資有価証券	289,200	295,282
その他	304,140	330,698
貸倒引当金	△9,718	△14,232
投資その他の資産合計	583,622	611,747
固定資産合計	1,225,522	1,245,119
資産合計	2,850,125	2,808,674
負債の部		
流動負債		
支払手形	203,055	159,756
工事未払金	175,330	208,566
買掛金	66,717	49,010
1年内返済予定の長期借入金	83,272	31,172
未払法人税等	72,102	26,609
完成工事補償引当金	19,455	25,524
その他	200,092	132,355
流動負債合計	820,025	632,996
固定負債		
長期借入金	144,816	130,712
その他	49,381	45,176
固定負債合計	194,197	175,888
負債合計	1,014,222	808,884

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,656
資本剰余金	343,931	344,422
利益剰余金	1,099,137	1,257,833
株主資本合計	1,778,232	1,937,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,270	59,496
評価・換算差額等合計	55,270	59,496
新株予約権	2,400	2,380
純資産合計	1,835,902	1,999,789
負債純資産合計	2,850,125	2,808,674

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)
売上高	1,994,490	2,366,998
売上原価	1,349,105	1,671,416
売上総利益	645,385	695,582
販売費及び一般管理費	446,748	503,326
営業利益	198,637	192,255
営業外収益		
不動産賃貸収入	4,650	5,841
有価証券利息	9,790	9,675
売電収入	29,667	29,776
助成金収入	30,312	10,445
その他	8,409	8,505
営業外収益合計	82,830	64,244
営業外費用		
支払利息	1,563	1,503
売電費用	2,245	1,677
減価償却費	18,254	16,341
貸倒引当金繰入額	716	—
その他	3,870	1,581
営業外費用合計	26,650	21,103
経常利益	254,816	235,396
特別利益		
固定資産売却益	2,430	—
特別利益合計	2,430	—
税引前四半期純利益	257,247	235,396
法人税、住民税及び事業税	80,105	79,826
法人税等調整額	1,987	△3,126
法人税等合計	82,093	76,699
四半期純利益	175,153	158,696

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,797,294	195,354	1,992,649	1,841	1,994,490
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,797,294	195,354	1,992,649	1,841	1,994,490
セグメント利益	341,967	21,657	363,625	422	364,047

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	363,625
「その他」の区分の利益	422
全社費用(注)	△165,410
四半期損益計算書の営業利益	198,637

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,176,784	188,623	2,365,408	1,590	2,366,998
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,176,784	188,623	2,365,408	1,590	2,366,998
セグメント利益	324,327	19,904	344,231	130	344,361

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	344,231
「その他」の区分の利益	130
全社費用(注)	△152,106
四半期損益計算書の営業利益	192,255

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。